



2022年5月31日

株式会社 阿波銀行

株式会社フィットの「SDGs 宣言書」策定について
～ お客さまのSDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 長岡奨、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、株式会社フィット（代表取締役 鈴江 崇文、本店：徳島県徳島市）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

【企業概要】

企業名	株式会社フィット
所在地	徳島県徳島市川内町加賀須野 1069 番地 23
代表者	鈴江 崇文
業種	クリーンエネルギー事業
設立	2009年4月1日

○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の3側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。

SDGs宣言書

2022年5月31日



株式会社フィット 代表取締役 鈴江 崇文

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取組みを行ってまいります。

項目	テーマ	取組み内容	①取組みと②数値目標	SDGsのゴール	
環境・経済	省エネ・温室効果ガスの排出削減	CO2排出抑制のために、エネルギー使用量の把握に努め、さらなる省エネ・節電を推進します。	①(1)徳島本店の省エネ化のため建替え有効活用 (2)徳島本店松茂オフィスの自社使用の再エネ導入 (3)自社施設のLED化促進 (4)社有自動車のEVシフト		
			②(1)2023年4月末日までに、再エネ率100%の自社店舗及び省エネ住宅の展示場として活用。 (2)エネルギー使用量における再生工率100%。 2023年4月までに太陽光発電設備を導入。 (3)2024年4月までにLED導入率100%。 (4)2025年4月までに100%EV車にシフト。		
環境・社会・経済	環境マネジメントシステムの構築	未来の地球環境を守るため、環境活動および社内体制の継続的改善に努めます。	①(1)取組みの担当部署・担当者の設置 (2)徳島本店松茂オフィスにおいてISO14001取得		
			②(1)2022年12月までに設置。 (2)2023年4月末日までに取得。		
社会・経済	情報発信・教育、社会活動への貢献	自社のリソースを最大活用し、地域の情報発信・教育、社会活動に貢献する活動を行います。	①(1)Bリーグ参入を目指す徳島のバスケットボールチームへの参画 (2)グリーンエネルギーの商品、情報・サービスのマーケットプレイスプラットフォーム「脱炭素デキルくん」内で脱炭素に関する教育コンテンツやコラムを配信 (3)協力業者への脱炭素に関する勉強会等実施		
			②(1)2022年6月までに運営会社への出資と情報発信を開始 (2)2022年5月より週に1回以上配信 (3)継続的に情報発信し、年1回勉強会を実施。		
環境・経済	地産地消の推進	地域産の材料・食品・製品や地域人材などの地域資源を積極的に活用し、地産地消・地産外商を推進します。	①(1)地域の人材雇用 (2)障がい者等の雇用機会を促進 (3)地域の協力業者の採用拡大		
			②(1)2024年4月期 地域人材の新卒10名採用。 (2)2022年10月までに取組みを具体化し推進。 (3)協力業者の地域採用を推進し、業者説明会を年1回開催。		



SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。

